

連絡配信 詳細

編集

コピー

君は、自然災害時やコロナ感染災害時のDMATの活躍を知っているか？(訂正版)

更新日時 2025年03月02日(日) 17:17

作成者 高田 浩一 最終更新者 高田 浩一

お詫び、DMATと表記しなければならなかったのですが、DWATと表記してしまいました。
改めて訂正版を配信します。失礼しました。

ちなみに DMATは、災害派遣医療チームの略です。
DWATは、災害派遣福祉チームの略です。
DPATは、災害派遣精神医療チームの略です。

今日は、長崎大学病院災害医療支援室の山下和範氏に来校いただき、3年生に対して、DMATの役割、活動内容（東日本大震災派遣、熊本地震派遣、ダイヤモンドプリンセス号でのコロナ感染症の対応）これからの災害に備えることの大切さ等について話をさせていただきました。3年生は、この講話の前に、プロジェクトXで放送されたダイヤモンドプリンセス号でのコロナ感染症でのDMATの活躍を視聴しており、積極的に質問をしていました。ある生徒が「自分たちにできることはないでしょうか？」という質問をしました。それに対し山下氏は、「興味、関心をもち続けることです。」と答えられました。これは、まさしく能登半島地震から1年を経過して関心が薄れてきていることを指摘しているのではないのでしょうか。昨日の火災避難訓練に続き、命の大切さ、自助、共助、公助のあり方について深く学ぶことができました。



IMG_9349.jpeg

配信設定 配信済

配信先

2024年度

全保護者

配信日時

保護者既読状況

 142 / 202名

未読一覧

全保護者 (未読60名)